

# 築上町の仕事人。

食を通して地域を支える

と  
う  
03

手が「どう」＝手が「届く」  
協力隊が築上町の魅力を体験＆発信

堤農園 堤功さん

メタセの杜 木村順弘店長

撮影場所：本庄の大楠

## 堤農園



住所：福岡県築上郡築上町湊地区干拓  
生産物：スイートコーン、レタス、水稻

## 築上町物産館 メタセの杜



住所：福岡県築上郡築上町大字弓の師 765  
営業時間：午前 8 時～午後 6 時  
休業日：1月 1 日～1月 4 日  
移動販売車：毎週火・木・金 町内各所を周回

発行元：築上町地域おこし協力隊



加藤 詩乃 ニックネーム：しの  
愛知県瀬戸市出身。前職はデザイナーで、  
この「どう」の編集・デザイン担当。野球  
観戦で飲むビールが好き。

斎藤 愛 ニックネーム：メグ  
千葉県君津市出身。最近のマイブームは山  
口県の駒田大名・大内家。休日は山口県各  
所の史跡巡りに勤しんでいます。

小俣 元稀 ニックネーム：おまたち  
千葉県千葉市出身。牧の原キャンプ場に一  
度泊まったことから、現在は自分に合った  
キャンプ道具探しに勤めています。

発行元：福岡県築上町地域おこし協力隊

お問い合わせ：築上町役場 3 階 まちづくり振興課 地域係

TEL：0930-56-0300



@chikujo\_kyouryokutai

体験取材の様子や、築上町の日常を発信しています！



CHIKUJO  
MAP

# 町の特産品、スイートコーンをつくる。



堤農園  
堤功さん

今回協力隊は、築上町の特産品であるスイートコーンの収穫体験を行つてきました。湊地区の干拓地帯の一画に、堤功（つみーいさお）さんの畑が広がっています。

## 無から有形財産を作つていくんやけね

農業は、何もない土壤から実りある作物を作つていくということ。堤さんはこの道三十年の大ベテランで、スイートコーン

生産のほか、レタスやお米も作っています。そんな堤さんの農業にかける想いを伺いました。

太陽の恵みやらね、この空気やらね、当たり前と思つたけどこれは本当にありがたいこと

これが本当にありがたいこと

リー精神、一緒に働いている方々との仲の良さ、長年の経験から成功を收めていると学ぶことができました。

農家さんであるからこそ気づける自然の恩恵。堤さんはまさに、私たちが学ぶべき『どんな場所でも生きる力』を持つてい

る方の一人です。  
そんな方のとて教わった『どんな経験も無駄にならない』といふ考え方。この言葉を胸に刻み、どの体験取材でも全力で取り組んでいきたいです。

（文・小俣元稀）

\*露地野菜：ハウスなどは使わず露天の畑などで栽培した野菜のこと



暑い日射しが照る七月上旬。私たちちは『メタセの杜』が始めた移動販売車の体験取材にきました。

毎週火・木・金曜日に町内を回つて、食料品をメインとした生活必需品を運んでいます。女性は毎週欠かさず利用していると言います。

## お客様同士のコミュニケーションの場になつたら嬉しい

今はコロナ禍の影響で、外出することが極端に減つてしましました。そうした皆さんために、コミュニケーションスペースとして使ってほしいと木村店長は語ります。

「久しぶりねとか、何してたのうつてお客さんたちが会話してる様子がいつも見られるんだよね。そういうのは嬉しいし、ちょっと買いたい物するついでに誰かと会つて話す機会を作つてほしい」

地域の高齢者にとって、買い物への負担を軽減することが目的

「足が悪い人とかもいるから。家の近くまで食品が来てくれれば、ちょっと楽になるよね」

そう話すのは『メタセの杜』の木村順弘（きむら・よしひろ）店長。「自宅の目の前に停まってくれて助かるの」と笑顔で話す



人と人をつなぐ。  
そんな  
移動販売を。

メタセの杜  
木村順弘さん

地域の人々の生活と交流に役立つ移動販売車は、まだ始まつたばかり。直接ふれあえる機会の場づくりは、私たち協力隊も大変勉強になる事業だと感じました。

（文・齊藤愛）